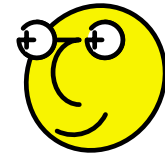




携帯電話用
QRコード



あなどれません。町田

市の宣言
男女平等参画都市宣言
非核平和都市宣言
青少年健全育成都市宣言
交通安全都市宣言

今号の紙面から

2～3面

定額給付金・
子育て応援特別手当
申請方法を
お知らせします

4面

まちださくらまつり
—まちだの春を
感じてみませんか—



隣は相原中央公園、子どもたちや子育てを支援する堺地域の新しい拠点です

市内で3館目

子どもセンターばおがオープン

児童青少年課 ☎724・2182
子どもセンターばお(4月1日から)
☎775・5258

4月5日に子どもセンターばお(相原町2025・2)がオープンします。

「ばお」は、南地域の「ばあん(金森)」、「鶴川地域の「つるっこ(大蔵町)」に次いで市内で3館目となる地域の子どもたちの居場所です。0歳の乳児から18歳までの青少年のための遊びや仲間づくりの場、子どもたちが自由に安心して利用できる施設です。

6㎡、述べ床面積1179.02㎡です。音楽スタジオ、創作アトリエ、プレイルーム、図書室、乳幼児室などが設置されています。

オープニングイベント「ばおまつり」

日時 4月5日(日) 正午～午後3時
内容 スタンプラリーなど施設見学を兼ねた各種ゲーム、クラフト体験を企画しています。

ぜひお出かけ下さい。

子どもセンターばお 名称の由来

子どもセンターばおは相原中央公園に接し、緑の中に建っています。

館名の「ばお」は、モンゴルの草原に設置される遊牧民のテント様式の住居「パオ(包)」から名づけられました。

ひなた村の子ども活動グループが 文部科学大臣賞を受賞

ひなた村の子ども活動グループで、電気工作などに取り組んでいる「マイクログループ」の小学5年生2人と6年生4人が2008年度ラジオ音響技能検定4級試験の団体の部で、文部科学大臣賞を受賞しました。

全国の工業高校や電気関係の企業70団体が受験する中で小学生のみの6人全員が合格したことが評価されたものです。



グループ活動中の子どもたち

マイクログループに入れるのは小学4年生から6年生。原則毎週日曜日、2年間の活動です。電気的基础からロボット製作まで、電気やラジオ

「パオ(包)」は旅人がいつでも立ち寄れるようになっていることから、誰でも自由に遊べ、みんなを優しく受け入れる子どもセンターになるように願って地元の中学生から提案があり、地域の皆さんで相談して決定しました。

町田かたかごの森

一般公開
3月28日
～4月5日



(2008.3.29撮影)

「町田かたかごの森」は、毎年カタクリの開花時期に合わせて開園しています。多摩の希少種カタクリをはじめ、イチリンソウ、ヒトリシズカなどの野草も多く自生しています。

また、市民グループ「町田かたかごの森を守る会」の会員が、カタクリなどについて説明を行います。

開園期間 3月28日(土)～4月5日(日)

開園時間 午前10時～午後3時(雨天の時は開園)

交通 町田バスセンター4番または6番乗り場から、山崎団地行きまたは山崎団地センター行きバスで「木曾入口」下車、徒歩10分

車でのお来園はご遠慮下さい。

問公園緑地課 ☎793・7612、かたかごの家 ☎794・2223(「臨時」、3月28日～4月5日開園時間のみ)

町田市子どもの居場所づくり懇談会

市長へ報告書を提出



各地区で地域会議が開催されました 写真は鶴川地区

「町田市子どもの居場所づくり懇談会」が報告書をまとめ、2月26日に市長へ提出しました。

この懇談会は、年齢の異なる子ども同士で遊ぶことを通じて成長していく機会が減っていることや、子どもが安心して遊べる場所が求められていることから、子どもの居場所のあり方について検討するため設置したものです。

今提出された報告書は、

この報告書を受けて、市は2009年度に市民参画の推進組織を設置し、これまでに寄せられたご意見も参考に、具体的な取り組みを実施していく予定です。

児童青少年課 ☎724・2182